

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害	3. 既存の災害防止 対策	4. リスクの見積り		5. リスク低減措置案	6. 措置案想定リスクの見積り		7. 対応措置		8. 備考 (残留リスクについて)
			可能性	重篤度		リスク	頻度	可能性	重篤度	
重機作業 (建設廃棄物)	重機でがれきをホッパーに投入している時、確認不十分により、誤って重機ごとホッパー内に転落し、下敷きになる。	作業床の端の囲い、 取り外し可能なH=1m以上の柵の設置	2	2	IV (14)	1	1	IV (12)	ハットクレーン作業への設備改造。	

中間処理(破碎・分解)

破碎 (他固形物)	投入コンベア上部に破碎物が詰まったので、取り出すうとして足場に登り、無理な姿勢で破碎物を引っ張ったので反動で作業者が転落し、頭部を強打する。	作業前に指差し呼称で確認	1	4	IV (15)	1	1	I (5)	転落防止柵を設置	転倒するリスクは残る
破碎 (他固形物)	二軸破碎機に破碎物が詰まったので、装置を起動させたまま取り出さずとして、作業者が全身を巻き込まれる。	作業前に指差し呼称で確認	1	4	IV (15)	1	1	IV (12)	・初めに反転装置を利用し、破碎物を取り出す。 ・ダメな場合、装置を停止して取り出す	標準を守らず事故が起る可能性は残る。
破碎 (他固形物)	破碎機の投入口に陸軍物が詰まったため、棒で破碎物を押し込んだ時、破碎棒が一気に進行し、破片が飛び出し、作業者の頭に当たる。	作業前に指差し呼称で確認	1	2	III (9)	1	1	II (8)	停止後のインタロックを検討	標準を守らず事故が起る可能性は残る。

中間処理(圧縮プレス)

圧縮プレス (他固形物)	廃棄物を圧縮する時、可燃ガス容器が混入しており、蓄積した残留ガスが装置内で爆発し、作業者が爆風で飛ばされ、全身を強打する。	作業前に指差し呼称で確認	1	2	IV (13)	1	1	II (8)	排出者に混入禁止を徹底する。 事前展開検査を行う	混入する個数が減り、爆発の威力は減るが、見逃すリスクは残る。
-----------------	---	--------------	---	---	------------	---	---	-----------	-----------------------------	--------------------------------

中間処理(焼却・溶融)

焼却 (建設廃棄物)	ストーカの油圧配管の磨耗による油圧漏れで、高圧の作動油が作業員に飛散し、腕に薬傷を負う。	作業前の油圧計の確認	2	2	II (7)	1	1	I (5)	保護着等の着用の徹底	
焼却 (医療廃棄物)	感染性廃棄物の投入をベルトコンベアで行なっている時、感染性廃棄物が落ち、付近の作業員の腕に当たり、腕を骨折する。	目視	1	2	III (9)	1	2	II (4)	落下防止の安全柵を設ける	
溶融 (他固形物)	ピニールが作業場に散乱しており、作業者がそれに乗り、足を滑らせ転倒し、腕を打撲する。	作業前に指差し呼称で確認	2	2	II (7)	1	1	I (5)	標準を改定し、定期的(2日毎)に足元の清掃を行う	頻度は減るがピニールの飛散がある限り、転倒の可能性は残る

中間処理(中和)

中和 (廃液)	廃液移送ポンプを点検しようとして稼働中のポンプに触れた時、回転部に手が巻き込まれ、骨折する。	点検時は電源を切って確認	2	2	III (10)	1	1	II (8)	・ポンプ部分にガードを取り付ける。 ・電源のON、OFFを指差し呼称で再確認する	
中和 (廃液)	廃液を中和する中間処理施設にて、状況を確認するために中和タンクを開けた時、局所排気装置が故障して排ガスが漏れていたため、作業者が中毒になる。	点検チェックリストによる設備の点検	2	4	IV (12)	1	2	III (9)	防護マスクの着用を義務化	